

平成30年度第1回東住吉区区政会議

1 開催日時 平成30年6月12日(火)午後7時00分～午後9時03分

2 開催場所 東住吉区役所 3階 区民ホール

3 出席者の氏名

(委員)

大平 和子、榑 徳子、建林 典夫、筒井 由美子、中津 功一朗、西田 文男、
波多野 華代、花川 義翁、樋口 恒子、平田 睦、藤本 英治、藤本 潤、
藤本 佳孝、松田 安弘、美濃 満、善積 康子

(市会議員)

加藤 仁子、田辺 信広、辻 義隆、高見 亮、江川 繁

(東住吉区役所)

上田区長、山根副区長、齋藤政策推進課長、中原総務課長、
今西事業調整担当課長、杉本区民企画課長、伊藤次世代育成担当課長、
池川窓口サービス課長、河村保健福祉課長、柴田子育て支援担当課長、
玉木保健主幹、市川保護課長、金森生活支援担当課長、

4 議題

(1) 開会

(2) 東住吉区長挨拶

(3) 部会長の選任及び平成30年度の区政会議の進め方について

(4) 平成29年度東住吉区役所運営方針の自己評価

(5) 東住吉区の現状について

(6) 今後のテーマや題材について

(7) その他

(8) 閉会

○善積議長

それでは定刻となりましたので、ただいまから、平成30年度第1回東住吉区区政会議を開催させていただきたいと思っております。

私、議長を務めさせていただきます善積と申します。よろしくお願いいたします。

出席者の御紹介につきましては、委員名簿と座席表を御参照いただければと思います。

本年5月から、小林委員にかわりまして、樋口委員が新しく区政会議の委員として御就任いただいております。樋口委員。一言御挨拶をお願いします。

○樋口委員

初めて参加させていただいております。何もわかりませんが、どうぞ御指導いただけますようお願い申し上げます。

○善積議長

ありがとうございました。

本日欠席の委員ですが、翠委員と森川委員の2名です。

「区政会議の運営の基本となる事項に関する条例」第7条にありますように、委員の定数2分の1以上の出席、本日いただいておりますので、本日の会議は有効ということをお報告させていただきます。

続きまして、本日御出席いただいております市議会議員の皆様を御紹介させていただきます。皆様向かって左から田辺議員。

○田辺議員

こんばんは。本年度もよろしく申し上げます。

○善積議長

高見議員。

○高見議員

こんばんは。よろしく申し上げます。

○善積議長

辻議員。

○辻議員

こんばんは。よろしく申し上げます。

○善積議長

江川議員。

○江川議員

こんばんは。よろしく申し上げます。

○善積議長

よろしくお願ひいたします。

それでは、本日、前の区政会議委員の方が来ています。皆様傍聴席にいらっしゃいますので、またいろいろお聞きいただいたらありがたいなと思います。

続いて、区役所職員の御紹介を事務局からお願いいたします。

○齋藤政策推進課長

私、区役所政策推進課長、齋藤でございます。区役所の職員の紹介につきましては、時間の都合もございますので、私から名前を読み上げまして、一礼させていただく形で御紹介とさせていただきます。

上田区長でございます。

○上田区長

こんばんは、よろしく申し上げます。

○齋藤政策推進課長

山根副区長でございます。

○山根副区長

よろしく申し上げます。

○齋藤政策推進課長

後方、中原総務課長でございます。

○中原総務課長

どうぞよろしく申し上げます。

○齋藤政策推進課長

今西事業調整担当課長でございます。

○今西事業調整担当課長

こんばんは。よろしく申し上げます。

○齋藤政策推進課長

杉本区民企画課長でございます。

○杉本区民企画課長

よろしく申し上げます。

○齋藤政策推進課長

伊藤次世代育成担当課長でございます。

○伊藤次世代育成担当課長

よろしく申し上げます。

○齋藤政策推進課長

続きまして、池川窓口サービス課長でございます。

○池川窓口サービス課長

よろしくお願ひいたします。

○齋藤政策推進課長

続きまして、河村保健福祉課長でございます。

○河村保健福祉課長

よろしくお願ひいたします。

○齋藤政策推進課長

後ろ行きまして、柴田子育て支援担当課長でございます。

○柴田子育て支援担当課長

よろしくお願ひします。

○齋藤政策推進課長

玉木保健主幹でございます。

○玉木保健主幹

よろしくお願ひいたします。

○齋藤政策推進課長

市川保護課長でございます。

○市川保護課長

よろしくお願ひします。

○齋藤政策推進課長

金森生活支援担当課長でございます。

○金森生活支援担当課長

よろしくお願ひします。

○齋藤政策推進課長

あと私、政策推進課長の齋藤でございます。よろしくお願ひいたします。

○善積議長

どうもありがとうございました。

では、議事に入ります前に、会議の注意事項を御説明させていただきます。

会議は発言者のお名前と内容が会議録に残り、公表されることになっていますことを御

承知おきください。ルールとしては、発言いただくときに挙手いただいて、発言したいという意思を私に御表明いただきまして、指名をしますので、お名前を言っていただいて、御意見を発言していただくという流れでお願いいたします。

それから、会議中は携帯電話をお切りいただくことや、遵守事項としまして、傍聴者の方は写真撮影、録画、録音などは、区長の許可なくやってはいけないということになっておりますので、委員の皆様も会議中はそういったことがないように、よろしくお願いたします。

それでは、次第の2といたしまして、上田区長から御挨拶をお願いいたします。

○上田区長

皆さん、こんばんは。本日は、お疲れのところ、また出にくい時間帯に今年度第1回区政会議に御出席賜り、本当にありがとうございます。

本日は世紀の大会議、米朝首脳会議が無事に終わったようでございます。明日は万博の一番大きなプレゼンテーションがパリにてあるということで、知事と市長が一緒に行っているということがございますので、何とか大阪に誘致できるように、皆さんで念じていただければありがたいなと思います。

本日は今年度の会議を進めていくに当たりまして、部会長の決定ですとか、あるいはその部会の進め方、それから平成29年度、区運営方針の振り返りなどを御説明させていただきたいと思っています。29年度の運営方針の振り返りにつきましては、残念ながら目標未達成となった取り組みもたくさんございます。将来ビジョンに掲げる目標の実現のために、改善する点が多々あるかと考えております。具体的な内容は後々事務局より説明させていただきます。

それから、もう一つは、以前区政会議でつくっていただきました将来ビジョン、これが5カ年のちょうど真ん中、折り返しに当たる年になってございます。今後の東住吉区のことをいろいろ御検討いただく中で、現状として人口などの基礎データについても本日御説明させていただきまして、各部会でのテーマや議題について御議論いただくための参考にさせていただきたいと考えております。

最後に、第1回目ということもあり、少し説明が長くなるかもしれませんが、御容赦いただき、合わせて忌憚ない御意見を頂戴できればありがたいなと思いますので、どうぞ時間までよろしくお願い申し上げます。

○善積議長

ありがとうございました。それでは、本日の配付資料についての確認を事務局からお願いできますか。

○齋藤政策推進課長

政策推進課長、齋藤でございます。次第の裏面に資料一覧がございますので、そちらをご覧くださいければと思います。

まず、委員名簿、座席表があります。資料1としまして『2018年度（平成30年度）の区政会議の進め方について』がございます。資料2-1としまして『平成29年度東住吉区運営方針』、こちらが様式1から様式3をお配りしております。それと、資料2-2といたしまして『29年度運営方針の総括表』です。それと、資料2-3といたしまして『平成29年度東住吉区運営方針（課題と対応）』という資料です。あと、資料3といたしまして『平成30年度の運営方針』。続きまして、資料4-1というのが、『東住吉区の現状について』ということで人口動態の資料です。資料4-2としまして、『東住吉区の現状について（大阪市及び各区との比較について）』です。それと、資料5といたしまして『区政会議で取り上げてほしいテーマや題材について』でございます。それと最後に、資料番号は打っておりませんが、『東住吉区矢田南部地域まちづくりビジョン』になります。あと資料とは別になりますが、部会の日程調整表もお配りさせていただいています。

以上でございますが、お手元でございますか。また、落丁等あればお知らせいただけましたら、差しかえをさせていただきます。資料については以上でございます。

○善積議長

ありがとうございます。皆さん大丈夫でしょうか。

では、次第の3に入りたいと思います。今回、2つの部会をこの本会議の基に設けるということになっております。この部会のそれぞれの部会長を選任するということと、今年度の区政会議の進め方の確認をさせていただきたいと思っております。

前年度、少し前になりますが、皆さんに部会の希望をお聞きしたかと思えます。その御希望に沿いましてメンバーが決定をされました。この資料が資料1です。資料1に部会のメンバーがそれぞれ書いてあります。この部会の進め方も含めて御確認いただいて、部会長の決定をするとさせていただきます。

まず、進め方について事務局から御説明をお願いします。

○齋藤政策推進課長

ありがとうございます。資料1をご覧くださいと思います。

『2018年（平成30年度）区政会議の進め方について』という表題の資料でございます。まず昨年度の区政会議の振り返りについて書かせていただいております。ビジョンに掲げます区の将来像の実現に向けましてゆめ応援プロジェクトなど、区の政策事業について多くのアイデアを区政会議委員の皆様方から頂戴いたしまして、できる限り区の取り組みに反映させていただいてきたところでございます。昨年10月には、新たに14名の方が区政会議委員になられまして、空き家の利活用などの取り組みについて御議論いただいたところであるということで御紹介させていただいております。

2つ目に、今年度の部会の構成メンバーについて御紹介をさせていただきます。委員の皆様方から御希望を頂戴いたしまして、子育て教育部会と安心つながり部会をそれぞれ表にいたしまして整理させていただいておりますので、御確認いただきたいと思います。

3つ目に、昨年度、各部会で御議論いただいた内容ということで、書かせていただいております。昨年度は、区役所から各事業の課題を提示させていただきまして、御意見を頂戴する形で進めてまいったところでございます。資料1の裏をご覧くださいと思います。今年度の具体的な進め方を書かせていただいております。本日のこの本会議の場で、それぞれの2つの部会で取り扱うテーマや題材について意見を出していただきたいと思いますと考えております。その上で書かせていただいておりますように、7月以降に予定する各部会までに本日いただきました意見を取りまとめまして、部会長と相談し、部会でのテーマを決めてまいります。テーマに応じて必要な区の取り組みの現状や、データについてお示しさせていただきまして、第1回の部会では整理した資料をもとに御議論をいただいて、本会議での提案内容についての方向性を決めていく、そういった場になればと考えております。その後、第2回の部会では、第1回の部会議論を踏まえまして、本会議で提案する内容を取りまとめしていく、そういった運びでいければと考えております。10月ごろの本会議で各部会から発表を行っていただきまして、その内容についてまた話し合っただけだと、2月には区政会議からいただいた意見を踏まえまして、区として運営方針案を説明させていただくという流れでございます。

以上が、今年度の進め方についての御説明ということでございます。よろしくお願いたします。

○善積議長

ありがとうございました。それでは、皆さんよろしいですか。部会長を決定していき

いと思います。

まず、子育て教育部会につきまして、部会長を御推薦いただけるようであれば、お願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

では、中津委員。

○中津副議長

藤本佳孝委員にしていただけたらと思います。部会としていろいろ進むという部分でも、いいのかなと思っているのですが、よろしいでしょうか。

○藤本佳孝委員

はい。

○中津副議長

よろしくをお願いします。

○善積議長

今、中津委員から藤本佳孝委員の部会長への御推薦がございました。皆さん、異議ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。では、藤本佳孝委員にお願いしたいと思います。

続きまして、安心つながり部会です。こちらの部会長について同じように推薦いただける方、いらっしゃいますでしょうか。

では、藤本潤委員。

○藤本 潤委員

推薦させてもらっていいですか。真正面におられる建林委員を推薦させていただきたいのですが、よろしくお願いたします。

○善積議長

建林委員にということで、御推薦ございました。皆様、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、建林委員にお願いしたいと思います。

各部会では、部会長を中心に皆さんで議論を進めて深めていただくこととなりますのですが、皆さんからフォローをいただかないと部会は成り立ちませんので、ぜひ出席等含めてよろしくお願いたします。

それでは、次の議題に移りまして、次第の4、平成29年度東住吉区役所運営方針の自己評価ということで、後に両部会でどんなことを議論するかというテーマを皆さんに検討いただく時間をとります。そのために、今、東住吉区がどういう現状にあって、どんな課

題を抱えているのか、今どういうことがクリアできているのかといったことをこれからお話しいただきますので、その内容を聞いていただいて御議論いただきたいテーマを絞っていただければと思っております。では、よろしく申し上げます。

○齋藤政策推進課長

政策推進課長、齋藤でございます。それでは、お手元の平成29年度東住吉区運営方針、資料2-1から2-3を用いまして御説明させていただきます。

資料2-1でございますけれども、まず1枚目が29年度運営方針の様式1ということでございます。こちらが全体を取りまとめている分になります。

続きまして、2ページ下です。こちらに自己評価としまして、29年度の1年間の成果と今後取り組みたいこと、それとその下に解決すべき課題と今後の改善方法を書かせていただいております。これが全体の総括ということになりますので、こちらを触れながら、それぞれの達成状況を御説明させていただきたいと思っております。

取り組みの成果の欄になりますが、子育て層向けにLINEなどの新しい広報媒体を昨年立ち上げさせていただきました。あと、安心して心豊かに暮らせるまちづくりとしまして、新たに空き家利活用事業としまして、空き家活性化サポーター制度の創設にも取り組ませていただきました。あと、みんながつながるまちづくりといたしまして、区の文化祭でしたり、子育て応援フェスタなど、区民相互の交流活動のサポートにも取り組んできたところでございます。今後の取り組みとしては、子育て層の定着につながるような周知、発信の推進ということが大事ということでしたり、あと、区政への意見反映に対して区民の実感が高まるよう、区政会議の認知度の向上でしたり、あと区民の区政参画を目指した企画の検討などに取り組んでまいりますということで書かせていただいております。

その下の「解決すべき課題と今後の改善方法」につきましては、達成状況を説明した後に触れさせていただきたいと思っております。

運営方針の達成状況ですが、資料2-2をご覧くださいと思います。資料2-2というのが、様式5となっております、運営方針の達成状況の総括表でございます。上に「重点的に取り組む主な経営課題」についての具体的取り組みの目標達成状況というように真ん中にタイトルが書かれております。こちら、先ほど区長からの挨拶でも御紹介がありましたが、その目標の達成状況で取り組みが予定どおり実施できたのが15項目、取り組みは予定どおり実施したけれども目標が未達成だったのが8項目あったということで、こちらの8項目について少し触れさせていただきます。

資料 2 - 3 をご覧いただきたいと思います。こちらが平成 29 年度運営方針での課題とその対応を書かせていただいております。具体的取り組み目標未達成のもの例を 1 つ挙げさせていただきます。1 枚目の一番下のオレンジの線が入っている分です。1 - 3 - 1 「区の広報媒体及び内容の充実」というのが左にございますが、こちらに 2 つの業績目標を設定しております。1 つが「区民アンケートで区役所が情報発信の仕方を新たに工夫していると感じる区民の割合を 50%以上」、を目標にしておりまして、これは 59%で達成できたということでございますが、もう一つの「子育て層が、区の情報が伝わりやすくなったと感じる割合を 40%」と目標にしていましたが、これが 35.3%で達成できなかったということです。達成状況の表現が「②の(i)」となっておりますが、これが未達成という表現で、運営方針上記載されているものでございます。右側に課題と改善策を書いておりますが、課題といたしましては子育て層が利用する配架場所の開拓の必要性等を掲げさせていただきまして、改善策といたしましては、保育園や幼稚園等への配架依頼も行いながら、広報紙が手に取りやすい環境を整備することと書かせていただいております。こうした目標未達成の項目がこれを含めて 8 項目あるということで、それぞれオレンジのラインで書かれていまして、「②の(i)」と表記のあるものでございます。事前に資料をお配りしていますので、すべての項目のご説明はしませんけれども、そういう見方をするものと御理解いただけたらと思います。

先ほどご覧いただきました資料 2 - 2 (総括表)にもう一度戻っていただけたらと思います。

「戦略の進捗状況」というのが 2 つ目の箱にございます。こちらも順調というのが 3 件で、順調でないのが 9 件となっております。この内訳の例について再度資料 2 - 3 をご覧いただけたらと思うのですが、1 ページの一番上のブルーのところにかかれてます「戦略 1 - 1 東住吉ゆめ応援プロジェクトの充実」という項目がございます。こちらで、東住吉区に住みたい、住み続けたいと思う子育て層の割合を、平成 32 年度に 90%以上と目標にしておりますが、現時点では 83.8%です。下に括弧書きで 86.2%という数字が前年の数字ということになっております。

もう一つの項目が、区の特長や地域実情に応じた施策事業、イベント等があると感じる区民の割合というもので、平成 29 年に 60%以上と目標にしておりましたが、残念ながら 51.3%で到達できなかったということで、戦略の進捗状況としましては黄色のところの一番右側の分です。課題といたしましては、子育て層向けの施策周知が必要であると

いうことを書かせていただきまして、改善策といたしまして、子育て層向けのイベントでのチラシ配布でしたり、あと事業の成果発表の方法を工夫して、区全体へ波及効果を促していくということを考えております。

資料２－２に戻っていただきまして、同様にアウトカムの達成状況としまして、順調でないのが４項目。それと、戦略のアウトカムに対する有効性につきましても、有効でないため戦略を見直すのが３項目ということになっておりまして、こちらも先ほど見ていただきました資料２－３のところでそれぞれ表記されておりますので、またご覧いただけたらと思っております。

それと、資料２－２の一番下に「市政改革プラン２．０」に基づく取組等ということで、こちらの目標達成状況も書かせていただいておりますが、こちらも目標未達成が６項目となっております。それが、資料２－３の一番後ろで、様式３、市政改革プランに基づく取組みというペーパーがございますが、こちらの取組み項目１０、取組み項目１１のところで②と書かれているところです。こちらが未達成のものということで、備考欄にもその改善策を記載しておりますので、ご覧いただけたらと思います。

非常に細かくて多くの資料となっておりますけれども、委員の皆様方に事前に資料を送りさせていただいておりますので、この場でのそれぞれの項目の説明は省かせていただきますが、よろしく申し上げます。

それと、資料２－１の２ページに戻っていただけたらと思います。先ほどの自己評価の下の項目です。「解決すべき課題と今後の改善方向」ということですが、今年度が新しい将来ビジョンの実現に向けて取り組む初年度ということで、非常に改善を要する項目が多く見られたということでございます。ただ一方で、子育て関連事業にて対象者の満足度は非常に高く事業成果は上がっている状況にございます。ただし、区全体への認知度や波及効果が十分ではなく、今後改善へ向けて一層の取組みが必要ということでしたり、あと指標で言いますと目標値には達成していないものの、数値が改善しているものも多く見られます。今後、東住吉区の持つ地域資源を利活用しまして、関係部局や関係団体とより一層連携しまして、にぎわい創出などに取り組んでいくこととしております。

最後に、資料３といたしまして、平成３０年度の東住吉区の運営方針についても少し触れさせていただきます。

資料３、平成３０年度東住吉区の運営方針ですけれども、前回の区政会議でも御説明しまして、平成３０年４月に公表もさせていただいておりますのでございますが、今回説明して

おります29年度の運営方針の自己評価の実施結果を踏まえまして修正したものとなっております。変更内容につきましては、中長期的な目標への修正を行うものとなっております。大筋が変わっているものではございません。資料3の最後のページをご覧くださいましたら、改定履歴ということで、変更内容について記載しておりますので、またご覧いただけたらと考えております。

以上、私からの説明でございます。よろしくお願いいたします。

○善積議長

ありがとうございました。

続きまして、次第の5です。東住吉区の現状について、人口などの基礎データについて分析をいただいておりますので、御説明をお願いいたします。

○池田係長

こんばんは。政策推進課担当係長の池田と申します。私から次第の5、東住吉区の現状について御説明をさせていただきます。

説明に使いますのが、資料の4-1になります。あと、資料の4-2ですけれども、こちらにつきましては前のスライドに映し出しておりますので、そちらをご覧くださいと思います。東住吉区の現状ということで、人口や世帯の情報を載せているのだけれども、皆さん事前に見ていただいて思っていたイメージと異なる部分等ありましたでしょうか。基本的に全国的な傾向や大阪市の傾向と異なる部分というのは余りないのだけれども、東住吉区の特徴を個別の項目ごとに順に見ていきたいと思っておりますので、これらのデータについて今後議論いただくときに参考にしていただければなと思います。また、議論の中で今日集めたデータ以外にも別のデータが必要であれば、質疑の際におっしゃっていただければ御用意しますのでおっしゃってください。

では、まず人口総数について、前のスライドをご覧ください。人口総数について、平成17年の国勢調査のデータをもとにしているのだけれども、比較しますと平成17年から平成27年でマイナス8,785人、10年間で9,000人近くの人口が減少しております。最近の特徴としましては、平成20年以降1,000人前後の人口が毎年減少していたのだけれども、平成28年、29年、ここ直近を見ますと、マイナス68人、マイナス70人と減少幅が大幅に小さくなっております。大阪市全体でも平成17年に増加に転じた後は、現在平成30年も増加中です。以前、将来ビジョンをつくった際には、平成27年には大阪市全体も減少に転じると予測されていたのだけれども、実際は平成30

年の現在も大阪市全体では人口が増えています。マンションの建築等も多く、市内の中心部を筆頭に増加傾向が続いているのが要因かなと思われます。

次に、人口の増減数を上位、下位に並べた表を前に移し出しているのを見ていただけたらと思います。平成28年、29年の上位を見ていただくと北区、西区、浪速区のように市内の中心部で増加が多く、周辺の区では、特に東住吉区を含む市の南部で、減少傾向が多くなっています。その中で東住吉区は、南部にありながら減少数はかなり低いといったことが言えるかと思ひます。減少数の多いところ1位が平野区で、住吉区、西成区と続いています。平野区が800人減、住吉区519人減といった中で、東住吉区は減少数が少ないかなという状況です。

次に、人口を年齢別、3区分に分けて見ていくと、平成27年と28年では年少人口、0歳から14歳の人口のみが減少、生産年齢人口、15歳から64歳、高齢者の人口、65歳以上については増加となっています。実際には、平成27年、28年の増減率というのは、ほぼ横ばいです。この四角で囲んでいる部分ですけど、平成12年、17年から、平成27年、28年を見ると、ずっと減少していたのですが、平成27年、28年からは減少していない状態になっています。実際には0.1%、0.2%、0.4%といった感じで、1%未満の変化しかない状態です。平成17年以降、この10年間ですが、今までずっと下がっていたものが増加に転じたり、下げどまったというのは東住吉区としてはすごく明るい材料なのかなと感じました。3区分の割合ですけども、東住吉区だけを見るよりも各区と比較したほうがわかりやすいかと思ひますので、前のスライドをご覧ください。例えば0歳から14歳の割合を見ますと、鶴見区が断トツで高い状態になっていて15.2%です。子育て層が住みたい町を目指す東住吉区としては、11.3%というのは大阪市平均の11.0%より高い状態にあること、あと転入と転出の差を見たときに、0歳から9歳までは、転出よりも転入のほうが多い状態になりました。0歳から9歳までで、転出に比べて転入のほうが多くなったというのは東住吉区と阿倍野区だけだったので、そこはなかなか誇らしいことかなと感じています。何が要因かというところまでは、分析が進んでいないのですが、0歳から9歳の転出・転入動態が増えていたのが阿倍野区、東住吉区だったというのと、ほかのところをも見ていくと、30歳から34歳、35歳から39歳という子育て層も増えていたので、この部分というのは大阪市全体でマイナスになっているところなので、かなりプラス材料かなと見ております。このように人口の中でも転出、転入といったところに関しては、ここ2、3年でかなり東住吉区は改善が見られるところ

です。

続きまして、自然動態、出生や死亡ですが、出生数は低下傾向、死亡数、死亡率は高くて厳しい状態にあります。直近の数字を見ますと、大阪市全体で7, 181人自然減ということで、出生よりも死亡が上回っている状態がかなり多いです。東住吉区においても781人の自然減、市内では3番目に自然減が低い状態となっています。大阪市全体でも今後、自然減の幅が拡大するものと見込まれており、東住吉区でも高齢者の割合の向上、高齢単身者の数も多い状態で、自然減の幅が拡大しそうです。ちなみに出生率についてですが、東住吉区が7.5%ということで大阪市全体よりも低い状態で、出生率1位の西区12.4%に比べるとかなり低くなっており、単純に人口を予測するのものと使うときには、この出生率ではなく合計特殊出生率というのをよく使います。この合計特殊出生率というのは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、簡単に言うと1人の女性が一生の間に産む子どもの数に相当される数だと言われています。ですので、ざっくり言いますと、この数値が2以上であれば今後人口は増えていくといった予想が立ちます。この数値ですが、赤で囲っているところが合計特殊出生率なのですが、東住吉区は1.27。大阪市の平均よりも少し高くなっています。ちなみに1位は鶴見区の1.72です。最下位は浪速区の0.90ということで、周辺区のほうが高い状態にあります。ちなみに、全国の平均が1.39ということで大阪市は全体よりも低めとなっています。こういったこともあり、将来大阪の人口が減ると言われております。

最後に世帯数についてですが、平成27年の東住吉区の世帯数は5万7,797世帯。平成26年の5万8,135世帯に比べて338世帯の減少。1世帯当たりの人員が2.19となっております。1世帯当たりの人員数というのが、大阪市全体で1.99なので、大阪市全体よりは高くなっています。増減数を区別に見ますと、中央区が2,547世帯増と多く、北区は2,107世帯増、西区が1,404世帯増と続いています。やはり中心区の世帯が増えているといった状態です。一方、西成区が1,504世帯の減、次いで東住吉区が338世帯減、大正区が271世帯減と続いています。1世帯当たりの人員数を見ると、またここでも鶴見区が2.41と最も高く、次いで大正区が2.23、西淀川区が2.22、平野区が2.21、東住吉区は2.19と続いています。ちなみに最も少ない区が浪速区の1.41、中央区は1.58、西成区は1.62と続いています。

東住吉区ですが、核家族世帯率が大阪市内でも高く、中心区よりも周辺区のほうが家族で暮らすには暮らしやすい傾向にあるのかなといったところが見受けられます。東住

吉区、その中でも高齢の世帯率が高いことから、高齢の方が長く暮らすのに住みやすい町なのかなという印象が持たれているのは、以前からのイメージと変わらないのかもしれませんが、今後については、高齢の方に住みやすいという長所を生かしつつ、高齢の方に見守ってもらいながら今少し増えつつある子育て層を増やしていき、子育て層にも過ごしやすい町という観点で見ただけだったらいいなと思います。

私からの説明は以上です。

○善積議長

ありがとうございました。今の2つの説明、東住吉区の運営方針の自己評価、そして現状についての質問を受けたいと思うのですが、資料の読み方が難しいかと思うので、もう一度こちらで確認させていただきます。

資料の2-2「運営方針の達成状況」にあるものですが、具体的取り組みというのは東住吉区が考えて、去年度、具体的にこれをやろうという方針ですね。その方針が幾つかある中で、達成できていなかったものがカラーの資料2-3の表の中のオレンジで書かれているという理解でよろしいでしょうか。オレンジの見るところとしては業績目標というのが立てていた目標で、アウトカム達成状況の数字が達成できていないところが、資料2-2の目標未達成になります。それから、オレンジの1-3-1とか1-3-4は、1-3の下の項目、数字になっていますが、これが具体的取り組みで、こういった取り組みを総括して、戦略として表現しているのが1-1になります。1-1、1-2、1-3というのは東住吉区が立てている戦略になるのですが、この戦略の進捗が順調でないというのは、ブルーで表記されている9つです。アウトカムの達成状況ですが、アウトカムというのは実際に数字でAをやればBになったということではなくて、いろんな取り組みをした結果、こんな環境、こんな社会像、こんな皆さんの感じる気持ちが生まれてきたという具体的な行動を幾つか重ねた中で出てくる結果をアウトカムと表現しています。この達成状況が、順調でないというのはどこを見たらいいのですか。

○齋藤政策推進課長

課題の左側の戦略進捗状況というところがbとなっているものが順調でないものです。

○善積議長

bですね。右から3つ目、戦略進捗状況と書いてありますものが、aは順調で、bになっていると順調ではないという理解でよろしいですか。

○齋藤政策推進課長

はい。

○善積議長

ということです。戦略のアウトカムに対する有効性というのは、そのまた隣の右から4つ目、アウトカムに対する有効性でイやアと書いていますが、アは有効であると、イは有効ではないという判断をされたものになります。市政改革プランに対しては、これは区としてというよりは市としての方向性、取り組み内容に対しての達成状況という読み方になります。皆さん、なかなか読み解きが難しい資料だと思いますが大丈夫でしょうか。

では、御意見、御質問があればぜひお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

業績目標が、例えば一番上から2つ目、1-1の戦略、区の特性に応じた施策、事業、イベント等があると感じる区民の割合が、平成29年度に60%以上と掲げられたのですが、実際は51.3%だったと。その前の年が29.4%だったので、29.4%からは上がってはいるのですが、目標が60%だったので達成できていないという考え方になります。ですので、単年で今達成できなかったとしても、長期的に見れば超える可能性があると思えてもいいのかもしれませんが。このあたりが、短期で目標設定されて達成できていないと読める状況もありますので、データの的には厳しくつけられた結果かと私は思っております。

皆さん、どうでしょうか。何か御質問などあればぜひお願いします。

では、中津委員をお願いします。

○中津副議長

質問ではないのですが、今おっしゃったみたいにおおむねやっていたことに対しては何かしらの結果が少しずつ出ているのかなというのは、この資料を見させてもらって思っています。少しずつ数値は上がってきているけども、その後ですね。ある程度低い20%とかから40%に行くというのは、ある程度簡単な部分だと思います。例えば周知したりとか。しかし、その40%からその後60%、70%となるとときに本当に難しくなってくると思いますので、そういう部分で戦略の見直しというところを考えていかなければいけないのかな。今上がっていて、今後、次じゃあどうしていくかというところでは、そういう考え方をしていくことが必要かな、というのをこの資料を見て思っているところです。ですので、そういう部分が大事なのかなと考えております。

○善積議長

ありがとうございました。ほかにどなたか。お感じになったことで結構ですけれども、

いかがでしょうか。

人口に関してもデータの的には若い世帯が流入してきているように見えるのですけれども、これはマンション等の建築要素というのが多分にあると見たほうが良いと思います。物理的に建物が建てば、そこへ若いファミリー層が入ってきますので、価格帯もありますけれども。ですので、単純に区の努力だけで増えているかということ、そこは厳しめに見てもいかもかもしれません。評価の軸がアンケートになりますので、皆さん業績目標の表現を見ていただければわかると思うのですが、子育て層の区民が感じる区民の割合となっておりますので、実際住んで生活をして感じた人たちの意識を指標にされています。やはりここでいい結果が出てくるというのは目標として置くには妥当と思います。

もう少しという数値が多い印象はありますが、去年というか前の調査からすると、例えば事業等の企画、計画段階で区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合が1-3です。26.4%から41.3%に上がっているとか、大きくポイントが上がっている事例も少なくないので、これはかなり区役所さん努力されたところだと思います。いかんせん、その周知がなかなか徹底できていないのかなと。特定の方たちは知っていて使っているけれども、延べて見たときに余り御存じじゃなくて、そんないいものがあつたのかというふうに思われる方がまだまだいらっしゃるのかなというのが率直な感想であります。皆さんどうお感じになりますか。何かございますか、藤本潤さん。

○藤本 潤委員

この表は、全部を網羅しているのですか。1-1、1-2と3。

○齋藤政策推進課長

全部というのが資料2-1で、その中で達成できていないものを集めています。

○藤本 潤委員

今後、この色がついたところが課題になるだろうというところでもいいのですか。

○齋藤政策推進課長

そうですね。各課の認識としましては、このあたりをやらせていただく課題になるのかなと。

○藤本 潤委員

そうですね。わかりました。

さっきの人口のところあつたじゃないですか。15歳から64歳の人口とかというのが順番にあつたグラフ。平成28年度だけが上がっているのですよね。

○齋藤政策推進課長

そうですね。

○藤本 潤委員

これより後はまた下がるという予測。

○齋藤政策推進課長

いえ、直近は少しプラスになっていますので、できればこれが維持といいますか、増えてほしいのですけども、これが先ほど議長おっしゃられたように区の取り組みだけでもちろん上がっているということではないと思いますので、ただそこには注目しながら施策を打っていくということには区としてもなるのかなと思います。

○池田係長

前の年まではマイナスでした。

○藤本 潤委員

そうですね。

○池田係長

直近で見たときに、少し上がったと思ったので、そこを。

○藤本 潤委員

そうですね。またこの後は、マイナス35.1%の減少という予測ですね。それがまた回復できればと思います。

○善積議長

ありがとうございます。では、榊委員お願いします。

○榊委員

大変基本的な質問で申しわけございませんが、このアンケートというのはどういうふうにとられているのでしょうか。というのは、私は東住吉区にもう何十年も住んでいるのですが、回答した覚えがございませんので、聞きたいと思います。

○齋藤政策推進課長

区民の方から無作為抽出で1,500名の方にお送りさせていただいておまして、回答率が三十数%です。年3回実施です。

○池田係長

1,500名に対して400名以上500名以下ぐらいの回答数です。

○榊委員

それは、郵送ですか。

○池田係長

最近、ウェブでも回答できるようになったのですが、基本的に回答は郵送がほとんどです。

○榑委員

じゃあ、その回答する人の意識というのが反映されてくるだろうなと思うのですが。

○池田係長

そうですね。

○榑委員

ありがとうございます。

○齋藤政策推進課長

実は、その前は区民モニターアンケートといって、もっと固定した形で聞いていたのですが、かなり人数が少なかったこともあり、現在は無作為抽出で1,500名にお送りさせていただいています。12万人中の1,500人ということですから、たくさんの方の声を聞かせていただく環境が整ってきたのかなと感じております。

○善積議長

では、中津委員お願いします。

○中津副議長

人口のところでお聞きしたい。東住吉区の現状という部分では、いろいろ理解させてもらったのですが、お話の途中であった、例えば西区であるとか鶴見区というのが1位であると、そういうところで鶴見区の取り組みとか何かそういう、東住吉区自体ももちろん大事ですが、そういう高い数値を出しているところが、どういう取り組みをなされているとか、何かありましたら。やっぱり成功している区を知っていくというのも大事かなと。成功しているのかはわかりませんが、そういう部分でお話を聞かせていただけたらと思います。

○齋藤政策推進課長

政策推進課で取り組んでいる内容でいいますと、子育て応援ナビというものを子育て層向けに作りましたが、例えば西区で言えばそういった子育て層向けの情報発信を非常にされてるなというのは勉強させていただいて、タウンデザインアドバイザー会議で中津先生にも入っていただいて御議論いただいた際には、そのあたりを少し参考にさせていた

だいたのかなと。

○池田係長

直近で言いますと、転入してきた方に対して、了承していただいた方が限定ですけども、継続してアンケートをとって行ってニーズを取っているというのを、鶴見区がやっている
と伺いました。

○中津副議長

ありがとうございます。

○善積議長

参考になりますね。情報発信は特に東住吉区の場合でも課題かと思うので、いい施策を
参考にできればと思います。

ほか、いかがでしょうか。この後、部会に分かれて議論していただきますので、一旦次
のテーマに入らせていただきます。

その議論のテーマと題材について、事務局から御説明をいただけますでしょうか。

○齋藤政策推進課長

引き続きまして、政策推進課長の齋藤でございます。

資料5「取り上げてほしいテーマや題材について」をご覧ください。

資料5ですが、先ほど部会の御紹介をさせていただきましたけども、委員の皆様方に
参加する部会の希望をお伺いした際に、合わせてお伺いさせていただきました今後取り上
げたいテーマを集約したものとなっております。部会としまして、子育て教育部会と安心
つながり部会の2部会と御紹介しましたけれども、両部会にかかわるテーマとしまして、
本会議議題と書いております。何も本会議でないと、というのではなくて、両方の部会に
またがるということで、例えば「他の区にはない、東住吉区の強みもしくは今後強みとな
り得るもの」というものを捉えてはどうかということで、都会にある田舎の強みとしまし
て、都心へのアクセスが便利であることだったり、逆に田舎ならではのコミュニティであ
ったり、昔ながらの商店街の活発さとか、といったものが安心・安全や子育てにとって、
田舎のイメージがプラスに作用するのではないかといった御意見。あと、地域での中小企
業の役割をテーマにしたらどうかといった御意見も頂戴しております。

それぞれの部会のテーマになるのかなということで書かせていただいておりますが、子
育て教育部会にかかわるものとして、小中学生の自立を促す取り組みについて議論し
てはどうかということでしたり、幼児教育の強化や共働き世帯のサポート強化、体制強化。

あと、プログラミング教育や英語教育の機会拡充。民間教育機関のPR、病児保育サポート、子育て応援ナビのデザインや機能の拡充についてということをお提案いただいています。それと、地域コミュニティと学校の連携についてといったこともテーマになるのではないかという御意見をいただきました。

あと、最後に安心つながり部会にかかわるものとしまして、借家の空き家対策であったり、地域コミュニティをヘルスケアと結びつけられないかといった御意見、防災の視点を持った矢田出張所の跡地活用についてなどの意見も頂戴しております。

以上でございます。

○善積議長

今、御説明をいただいたのが事前に皆さんにアンケートで意見をいただいたテーマ、議論したいテーマでございます。どなたが書いたか名前は書いていないのですが、これは自分だと思われるテーマ、もしよろしければ、補足説明など、お願いしたいと思います。

波多野さん。

○波多野委員

波多野と申します。子育て層の人口を増やすということで、今子育てをしているお父さん、お母さんが何に関心が一番あるのかなということをお考えたときに、早期に幼児教育をすることがその後の成長にすごくいいという研究が発表されたりとか、新しくプログラミングとかが学校でも課目に取り入れられるということにも関心のある御両親も多いかと思いましたので、こういったことを議題に盛り込んだらどうかと、個人的なことですけど、書かせていただきました。

○善積議長

ありがとうございます。ちょうど子育てをされていらっしゃるということもあって、こういったテーマを挙げていらっしゃるということです。

ほか、補足いただける方いらっしゃいますか。

私も実は、地域コミュニティと学校の連携というのを出しています。やっぱり学校に対して、もっと地域と連携をするべきじゃないかと今、文部科学省が方針を出しています。そういう中で、地域もその学校とつながるための、枠組み、働き方、そういう部分をどうやったら東住吉でもっと進めていけるのかというあたりを考えてもいいのかなと出させていただきました。安心つながりも、地域包括ケアの受け皿となるということで、これから

先の社会の中で高齢化が進んで、今、国が出している地域包括ケアという言葉の中で、地域が主体的に地域の高齢者の方の居場所、あるいは介護のサービスまで担うというところを求めてくる流れがありますので、そういうのを具体的に受けとめようとしたら何がいるのだろうということを考えてもいいかなということで、出させていただきました。

ほか、いかがでしょうか。では、ぜひ、大平委員お願いします。

○大平委員

大平です。安心つながり部会のところで、借家の空き家対策について書いておりますが、この中に含まれるかどうかわからないのですが、私は商店街の空き店舗について考えていきたいということを提案したいと思います。

○善積議長

ありがとうございます。空き店舗ですね。

それでは、大人数の中ではなかなか意見も言いにくい部分もありますので、今からこの会議を一時休会いたしまして、小さい形に分けて議論をしていただきたいと思います。事前にお伺いしたテーマに限らず、今、頭の中や心の中にふつふつとわき起こっている思い、意見を出していただけたらと思います。このグループは部会のメンバーで分かれてよろしいですか。どういうふうに。

○齋藤政策推進課長

あちらのテーブルでお願いします。

○善積議長

そしたらどちらがどっちでしょう。

○齋藤政策推進課長

手前を「子育て・教育部会」にしましょうか。

○善積議長

皆さん、メンバー表を見ていただいて、子育ての担当の方はこちらの手前で。安全部会の方が奥ということで、一度分かれていただけますか。30分ぐらい議論いたしましたら、また元のテーブルに戻っていただきたいと思います。ではお願いします。

(休会 20:06)

(再開 20:40)

○善積議長

議論が非常に盛り上がっていたところに断ち切る形で大変恐縮でございました。皆さん

から一通りの御意見が出たかと思うので、休会中に話し合いました内容をグループの代表の方、部会長にそれぞれ御発表いただければと思います。

まず、子育て教育部会の藤本佳孝委員、お願いします。

○藤本 佳孝委員

子育て教育部会ということで、いただいている御意見の中から気になることということでお話を進めました。

まず、学校と地域のかかわりについて御意見が出てきたのですが、地域の方々が学校に協力を求めてもなかなか協力体制ができていないという現状があるようです。教職員の負担のことであったりとか、あとは例えば、子ども食堂的なことを学校でできれば非常にいいのかなと考えたけれども、実際には衛生管理面であったりとか、アレルギーの面であったりとかで、なかなか学校の理解が得られない部分があるということなので、その辺、教職員の方もボランティアでどこまでかかわれるのかという問題もあるので、その辺で公的な補助金を予算化できたらいいのかなという意見も出ていました。

あと、子育て応援ナビについて、トップの画面がもう少し見やすいデザインになっているといいなということです。実際に必要な情報がなかなか探しに行かないと出ていない、新しい情報は順繰りに上に出てくるのですが、本当に欲しい、そのときに大切な情報がなかなか表に出ていない。例えば予防接種であったりとか、今抱えている子ども、1歳児、2歳児、3歳児に対してわかりやすい、取りやすい情報の発信の仕方ができてればいいのかなというお話も出ていました。あとは、回覧板もやっぱり東住吉区の特徴として人と人とのつながりが非常にあるので、回覧板の充実も少ししていったらいいのかなという話が出ていました。

あと、東住吉区の強みの部分、価値の部分をもっと少し整理して、みんなで共有していくことで、いろんな仕組みづくりであったりとか取り組みであったりとかは見えてくるのではないかなということも出ていました。以前から話があるように、東住吉区は南北に長いので、地域的考え方等の差があるので、もう少し細かく分析して共通する課題が見えてくると、強みであったりとか価値であったりというのは共有できるのかなと感じます。

あとは、子育て世代というのはいつまで、という話で、社会福祉法によると18歳未満は児童だという認識で見えていいようなので、もう少し高校生や大学生にも支援というか、社会の目が向くような取り組みをできないかというところでお話が終わりました。以上です。

○善積議長

ありがとうございました。それでは、安心つながり部会、建林委員お願いします。

○建林委員

安心つながり部会です。基本的に空き家が多くて、歯止めがかからなくなってきているという状況があります。その理由としましては、高齢者の方が施設に入所したりなど、さまざまな理由があります。また、商店街も同じく空き店舗が増えてきており、それには大型店舗が入ってくることなどの事情もあります。その空き家、空き店舗が増えていく中、オーナーさんとしましては空き店舗の活用方法というものがなかなか見えていないところもあります。賃料の問題、利権ということもかかわっているかもしれませんが、どうすればこの空き家利用を進めていけるかということなのですが、逆に空き家は駐車場があれば呼ぶこともできる、再利用することもできるという話もありまして、一概にその中のリノベーションだけの問題ではないかなとなりました。皆さんからもさまざまな意見が出ましたが、非常に多くの情報があり、それが一つにまとまっていないということもありますので、まずは1つの地域を空き家利用であったり、安心・安全のまちづくりのモデルケースとして作っていかうじゃないかというふうに考えております。今回は矢田地域の話も多く出ましたので、地域ごとの防災の問題もあるかと思いますが、安心部会でまずは1つのモデルケースをつくって、時代に合わせた取り組みを考慮しながら進めていきたいとまとめました。

○善積議長

ありがとうございました。皆さんから何か御意見、御質問ありますか。今のお話、御説明聞かれました、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは、今出た御意見については事務局で前にも書いていただいておりますが、取りまとめただけということですので。こういったテーマや題材を扱うといいかというところは、事務局で案をつくっていただけるということですので、そのテーマに則って部会で議論をするという流れをこれから進めていければと思います。事務局もよろしいでしょうか。

○齋藤政策推進課長

取りまとめさせていただいて、部会長ともお話をさせていただきたいというのと、多分この場で言い切れないこともあるかと思いますが、そのあたり、またメールやお電話をいただきましたら、それも含めて部会長と相談させていただきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

○善積議長

では、両部会長にはいろいろこれから動いていただかなければいけません、よろしくお願いたします。

そうしましたら、本日の議論は以上となります。皆さんに御協力いただきスムーズに流れることができ、ありがとうございます。

そのほかの議題として、以前、議論に上がっていました東住吉区矢田南部地域まちづくりビジョンについて、事務局から御説明があると承っております。御説明よろしくお願いたします。

○今西事業調整担当課長

事業調整担当課長の今西です。お時間いただきましてありがとうございます。

昨年度、区政会議でも御説明、御報告させていただきました矢田南部地域のまちづくりビジョンにつきまして、この5月の末に市長まで意思決定を取りまして、正式にまちづくりビジョンとして策定いたしまして、6月1日に公表しております。

内容につきましては、昨年度に市場調査等行い、まちづくりビジョンの素案を作成。12月には住民説明会、1月からパブリックコメントを実施し、二、三件のご意見をいただきました。これら市民の皆様の意見等を踏まえまして、今回まちづくりビジョンの成案ということで固めたところがございます。内容としては資料の1のところ、まちづくりの対象とする未利用地等になっております。この①から⑫までの未利用地と公共施設をまちづくりの観点で再開発という形でやっていくということになります。2番目のところに矢田南部地域の将来像として、周辺住環境との調和がとれつつ、新たなにぎわいと活力を創出できる空間と書いております。簡単に言いますと、これまで住宅地域ということで発展してきた東住吉区が、今後も住宅地のみでまちづくりが進められるかということ、なかなか厳しい状況ということになりますので、少しまちの門戸を広げまして、働く場所、遊ぶ場所というものをこの地域に導入することで、にぎわいと活力をもたらしていこうというのが大きな趣旨になっております。あわせて、矢田教育の森公園も、これまででしたら周辺の建物、施設等があった中での公園であったと思うのですが、現在その施設等もほぼ廃止状態になっておりますので、このまちづくりの機会に矢田教育の森公園もリニューアルし、特にこの間、区政会議からも御提言いただき実現している矢田スポーツグラウンドの事業のコンセプトも引き継いで、スポーツのできる空間へと転換していきたいというのがあります。

今後のスケジュールを3に書いております。下のほうに未利用地の状況ということで市営矢田南住宅1号館の建替えというのがもともとございまして、2018年、2019年の2年間をかけて、現在の場所とは違う場所に建築をしております。その建替えが済み、住んでいる方が引っ越した後により早く工事ができるという状況になりますので、2018、2019、2020の3年間を使いまして、このまちづくりビジョンを大阪市と一緒にやっただけの民間事業者を公募し、共同でまちづくりを進めてまいります。公募し審査した後、採用した事業者と基本協定書を結びながら各種行政手続等を行っていき、売買契約へと進め、2021年の早期には、工事が始まるといったイメージをしております。まだ、あくまでもスケジュール案の段階でございますので、今後の流れでは変更の可能性もあります。今後も詳細につきましては、事業の進展に伴って区政会議でも御報告させていただきます。よろしく申し上げます。

○善積議長

ありがとうございました。今の御説明について、御質問等ございますか。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、閉会の時間が迫ってまいりましたので、本日御出席いただいております市議会議員の皆様、今日の議題について御助言等をお願いできればと思います。

田辺議員からお願いしてよろしいでしょうか。

○田辺議員

本日もありがとうございます。夜遅い時間にかかわりませず熱心な御議論、そして貴重、有意義な御意見を賜りましてまことにありがとうございます。

私から1点だけ、区役所の方に、この資料2-3ですけど、済みません、少し理解しにくいといいますか、齋藤課長に一通り御説明いただいて、善積議長から補足説明いただいたんですけども、せっかく色分けとか記号を使っているのですが、できればその説明を下に書いていただけたら、御説明がとてもわかりやすかったかなと。御苦労していただいているのはわかるのですけれども、もう少しわかりやすい資料の作成をお願いしたいなと思います。

本日は平成30年度の第1回ということで、これからまた部会等での御議論だとか調査等を含めて、今年度1年間皆様方には区政の御協力を、私からもよろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが御挨拶とさせていただきます。本日は本当にありがとうございます。

○善積議長

ありがとうございました。では、高見議員お願いします。

○高見議員

市会議員の高見です。本日はどうもありがとうございました。いろいろ勉強になりました。私から、アンケートに関して、もう少し何かいろんな切り口がないかなと思いました。アンケートの回答も500件ぐらいだと。もちろん無作為抽出なので意味がある部分もあるのですが、例えばLINE等で集める方法もあると思います。東住吉のLINE@、大体登録者800人ぐらいいるわけですが、ここをもっと増やしていけば、コストをかけずに一気に意見を聞くとかもできると思うのです。というところを頑張ってほしいなと思いました。

あとは、アンケートの結果に関して、私も見させてもらったのですが、何個か特徴的なありました。例えば区内の公園を利用したいと思わない人が半分ぐらい、50%とか、ほかにもなでしこを知らない人が3割以上。そもそもLINEを知らないという人、9割ぐらいいました。結構いろんな項目があるのです。皆さんこうやって1年頑張っていたいろいろなことについて、もっともっと深くなっていくと思うのです。そうすると、聞きたいこと、皆さんのほうがアンケートの項目、すごい疑問を持っているのじゃないのかなと思いますので、ぜひ委員の方の意見も聞いたアンケートをできないものかなと思いました。

1年間、本当にいろいろと大変かと思えます。でも、区政に本当に重要な意見であり、これをよりよく反映させていくというのが行政の仕事だと思いますので、その辺の仕組みづくりもしっかりお願いしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

○善積議長

ありがとうございました。では、辻先生お願いします。

○辻議員

市会議員の辻でございます。先ほども安心つながり部会、また子育て教育部会の御意見の内容を聞いていきますと、日本の大きな課題の中でやっぱり人口減少と少子高齢化というのが、いよいよ切実になってきたかなと。その中で地域に暮らしている皆さん方が、本当の思いのたけを語っておられて、行政でできる部分と皆さんに御協力いただく部分が、一致していかないと解決ができないなというのは非常に実感しました。また、行政の中で

はまだまだ未熟な部分や、机上の空論で終わっている部分がたくさんありますので、そういった部分を、皆さんの声をつなげていくのがこの区政会議の役割であろうかと思えます。そういった課題はどの地域においても非常に関心の高いものであろうと思えますし、これからはさまざまな部会の中で激論が交わされると思えますけれども、しっかりとしたニーズを掌握していただいて、また私ども議員がしっかりとそれに耳を傾けて、政策にどう昇華していくのかということが私ども議員の役割でもあろうかと思えますので、どうか大変な期間になろうと思えますけれども、しっかりと議論をしていただいて、いい答えが出るように祈っております。よろしくお願ひいたします。

○善積議長

ありがとうございました。では、江川議員お願ひします。

○江川議員

どうも市会議員の江川です。本当に遅くまでありがとうございます。皆さんの本当に地域に根差した声が東住吉区を良くしていくと、今日改めて感じたところです。本当にすばらしいテーマがたくさん出ていますので、これを実現していく条件整備というか、そういったことを我々がやっていかないといけないなということを思いました。1つはやはり区の権限、予算がもっと増えて、せつかくいいものを出してもそれを実現するお金が、あるいは権限がなかったらできないので、そういったことができるようにしたいと思っています。と同時に、私も20年ほどかかわっておりますけれども、当初20年前の東住吉区では、地域のことをどうするかという予算について、適当な予算が組まれていたというふうに思っているのですが、こういう形でボトムアップというか、こういった区政会議でそういった行為ができるということ、本当に大きな前進というか意義があるかなと。平松市政から始まった区政会議ですけども、地方分権、都市内分権、住民参加というこの方向でもっと発展させていくために、私どももまた取り組みを進めたいと思っています。と同時にやはり、こういったことができるのは東住吉区というこの行政区があり、多くのスタッフがいろいろな知恵を一緒に出してやっていける、こういったことがあるのではないのかなと、改めて感じているところです。ぜひこういった取り組みがさらに前進するために、今後とも頑張っていきたいと私も思っておりますので、どうかよろしくお願ひしまして、一言とさせていただきます。

○善積議長

ありがとうございました。では、加藤議員お願ひします。

○加藤議員

こんばんは。市会議員の加藤仁子でございます。皆さん方の熱心な議論を聞かせていただきまして、同じような思いやなと思いました。子育てにつきまして、やはり子ども食堂をしたいなという気持ちとか、子どもに対して朝御飯を食べさせてあげたいとか、そういう気持ちというのは本当にどなたも持っている気持ちやと思いますし、また子育て応援ナビを見ましても検索するのが大変難しいというところも私も思っておりますので、それを今度はいかに解決していくかというのが我々の仕事やと思っておりますので、また皆さん方のお声を聞きまして、行政としてできることをしっかりやってまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。本日は本当に御苦勞さまでございます。

○善積議長

ありがとうございました。

それでは、今後の予定、事務連絡について齋藤課長から、お願ひいたします。

○齋藤政策推進課長

それでは、先ほどと重なる部分もありますので、簡単に御説明させていただきます。第2回の区政会議は10月開催予定ということでございますけれども、それまでに7月から9月にかけて、それぞれの部会を2回程度設けさせていただけたらと思っております。ただ、会議だけではなくていろいろなデータであったり、こういうものも必要だよというのは、また声もいただいて進めてまいりたいと思っております。本日、スケジュールの調査票をお手元にお配りさせていただいております。またメールでもお送りさせていただきますけれども、返信しやすいほうでお返事いただけたらなと思っております。その上で、日程が決まり次第お知らせさせていただきます。

それと、今日お見えになられた際に、広報紙などでこのために写真撮影をさせていただいております。まだ撮れていない方いらっしゃいますか。何名かの方、事務局でお声をかけさせていただきますので、撮影の御協力いただけたらというのと、あとそれぞれの委員の皆様方から原稿を頂戴しておりますが、まだ提出いただけていない方がいらっしゃいます。できましたら、明日中にいただけたらありがたいなということです。よろしくお願ひいたします。

私からは以上でございます。

○善積議長

メッセージ、ぜひ皆さん、よろしくお願ひします。

それでは最後、区長から一言お願いいたします。

○上田区長

皆さん、ありがとうございました。さまざまな意見、御議論賜りましてありがとうございました。資料が確かに見にくかったので、申しわけございませんでした。次回からの会議では見やすい資料を作っておきたいと思います。よろしくお願ひしたいと思います。

今日、いろいろな御意見いただいた中で、私自身も東住吉区の強み、価値、それをどう伝えていくかという話が非常に大事だなと去年から思っておりまして、どれだけ財産を見出すか、財産を創出していくかというのも大事でしょうし、もう一つは、東住吉区の1番の価値というのは人だと思ひます。いつも言っているのですが、いい人が非常に多いまちです。それが一つの財産でもあります。その人という財産をどう活かすのか、ということも大事なことです。先ほど言ひました財産的なもの、それはハードの部分もあればソフトの部分もあると思ひますし、これは2つの部会で共通の課題でもあるかと思ひますので、これから7月から9月にかけて部会で御議論いただく中で、価値のあるもの、共通した強みに何があるかということをご議論いただければ非常にありがたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

いずれにいたしましても、7月から9月の部会、それから1年間いろいろお世話になりますけども、どうかよろしくお願ひしたいと思ひます。今日はどうもありがとうございました。

○善積議長

ありがとうございました。

それでは、平成30年度第1回東住吉区区政会議本会議を終了させていただきます。

皆さん、どうもありがとうございました。

(拍手)

—了—